

オリゴヌクレオチド-抗体標識試薬 oYo-Link Oligo Custom

抗体の Fc 領域（最大 2 ケ所）にオリゴヌクレオチドを部位特異的に標識できる試薬です。ご希望の配列のオリゴヌクレオチド（一本鎖または二本鎖 DNA）を合成し、oYo-Link Oligo 試薬をカスタム作製します。

oYo-Link Oligo 試薬を用いて標識した DNA 結合抗体は、CITE-seq、Immuno-PCR および近接ライゲーションアッセイなどのアプリケーションに使用できます。

oYo-Link には、マウス IgG₁ 用とその他の抗体（ヒト IgG₁₋₄、マウス IgG_{2a}、IgG_{2b}、IgG₃ など）用の 2 種類の製品があります。

※マウス IgG₁ 用製品はマウス IgG₁ 以外では使用できません。他の動物種については、共通して試薬を使用できます。

■マウス IgG₁ 標識用

[メーカー：ATH]

標識物	標識可能な抗体量	商品コード	包装	価格(¥)
ssDNA	25 µg	AT1002-mlgG1-25ss	1 order	108,000
dsDNA	25 µg	AT1002-mlgG1-25ds	1 order	144,000

■その他の抗体標識用

[メーカー：ATH]

標識物	標識可能な抗体量	商品コード	包装	価格(¥)
ssDNA	25 µg	AT1002-25ss	1 order	108,000
dsDNA	25 µg	AT1002-25ds	1 order	144,000

※10~80 bp の長さのご希望の配列のオリゴヌクレオチド（一本鎖 DNA もしくは二本鎖 DNA）の oYo-Link Oligo 試薬をカスタム作製いたします。フナコシ Web に掲載の専用注文書にご希望の配列を記載のうえ、ご注文下さい。

細胞傷害性薬物の抗体標識試薬 oYo-Link ADC

oYo-Link は、部位特異的な抗体標識試薬です。Fc 領域特異的に 1 抗体あたり 1~2 個の薬物を標識するため、明確な薬物抗体比（DAR）を有し、予測可能な有効性と毒性プロファイルを持つ一貫した抗体薬物複合体（ADC）が得られます。

※本製品は研究用です。研究用以外には使用できません。

ここがすごい

oYo-Link の利点

●不確実性を最小限に抑えた均一かつ部位特異的標識

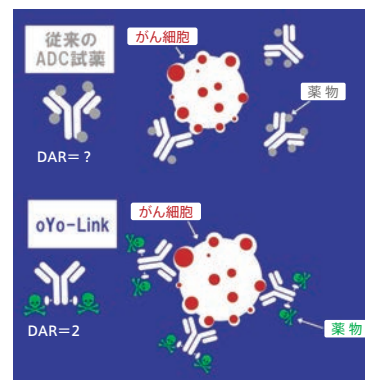
oYo-Link は Fc 領域特異的に 1 抗体あたり 1~2 個の薬物を標識するため、明確な薬物抗体比（drug-to-antibody ratio: DAR）を有し、予測可能な有効性と毒性プロファイルを持つ一貫した ADC が得られます。

●標識した抗体薬物複合体の精製は不要

抗体に結合していない oYo-Link は、標的細胞に対して毒性を示さないため、抗体標識後の抗体薬物複合体の精製は不要で、そのままキリングアッセイに移行できます。

●使用する抗体量の削減

oYo-Link は、わずか 1 µg の抗体から標識できます。



■マウス IgG₁ 標識用

[メーカー：ATH]

薬物	標識可能な抗体量	商品コード	包装	価格(¥)
VcMMAE	100 µg	AT7001-mlgG1-100	1 order	84,000
VcMMAF	100 µg	AT7003-mlgG1-100	1 order	84,000
DM1	100 µg	AT7002-mlgG1-100	1 order	84,000
DM4	100 µg	AT7004-mlgG1-100	1 order	84,000

■その他の抗体標識用

[メーカー：ATH]

薬物	標識可能な抗体量	商品コード	包装	価格(¥)
VcMMAE	100 µg	AT7001-100	1 order	84,000
VcMMAF	100 µg	AT7003-100	1 order	84,000
DM1	100 µg	AT7002-100	1 order	84,000
DM4	100 µg	AT7004-100	1 order	84,000

※上記以外の包装もあります。詳細はフナコシ Web をご覧下さい。